

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成23年7月21日 (2011.7.21)

【公開番号】特開2011-108279(P2011-108279A)
 【公開日】平成23年6月2日 (2011.6.2)
 【年通号数】公開・登録公報2011-022
 【出願番号】特願2011-42558(P2011-42558)
 【国際特許分類】

G 0 7 D 1/00 (2006.01)

G 0 7 D 9/00 (2006.01)

G 0 7 G 1/12 (2006.01)

【 F I 】

G 0 7 D 1/00 A

G 0 7 D 9/00 4 1 0 B

G 0 7 G 1/12 3 6 1 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成23年6月2日 (2011.6.2)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】発明の名称
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【発明の名称】硬貨処理システムおよび硬貨処理装置

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 0 1 】

本発明は、硬貨処理システムおよび硬貨処理装置に関する。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 9
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 0 9 】

そこで、本発明は、必要以上に多くの釣銭を保有していなくとも、両替を依頼された店舗が両替により釣銭不足になることを防止する硬貨処理システムおよび硬貨処理装置を提供することを目的とする。

【手続補正 4】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 0
 【補正方法】削除
 【補正の内容】
 【手続補正 5】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 1
 【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

また、本発明は、両替を依頼された店舗への硬貨の輸送頻度を低減させる硬貨処理システムおよび硬貨処理装置を提供することを目的とする。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１２】

本発明は、ＰＯＳレジスタと、前記ＰＯＳレジスタと通信可能に構成され、釣銭補充用の包装硬貨を収納できる硬貨処理装置とを含む硬貨処理システムであって、前記硬貨処理装置は、釣銭補充用の包装硬貨を収納するとともに、必要時に取出し可能な収納部と、前記収納部に残存している包装硬貨を検出する検出手段と、前記検出手段による検出結果に基づいて、前記収納部内に残存する釣銭補充用の包装硬貨の金種および包装硬貨数を記憶する記憶手段と、前記収納部内に残存する釣銭補充用の包装硬貨の金種および包装硬貨数を前記ＰＯＳレジスタへ出力する通信手段と、を備え、前記ＰＯＳレジスタからの指示に基づいて、前記硬貨処理装置の前記収納部から包装硬貨を取出し可能とし、前記収納部から包装硬貨が取り出されると、前記検出手段による包装硬貨の検出処理を行うとともに、前記記憶手段に記憶された情報を更新することを特徴とする硬貨処理システムである。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１３】

好ましくは、前記検出手段によって検出された包装硬貨の収納状況について、金種ごとの包装硬貨数が所定数未満となったときに当該金種の包装硬貨が不足していると判断する判断手段を更に備えている。

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１４】

好ましくは、特定の金種の包装硬貨が不足していると判断されたときに、当該金種の包装硬貨が不足している旨を外部へ出力する。

【手続補正９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１５】

好ましくは、前記収納部から取り出された包装硬貨と等価の金額を、釣銭として予め残置されていた初期在高に加算する。

【手続補正１０】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 6 】

本発明は、POSレジスタ等の外部装置と通信可能に構成され、釣銭補充用の包装硬貨を収納できる硬貨処理装置であって、釣銭補充用の包装硬貨を収納するとともに、必要時に取出し可能な収納部と、前記収納部に残存している包装硬貨を検出する検出手段と、前記検出手段による検出結果に基づいて、前記収納部内に残存する釣銭補充用の包装硬貨の金種および包装硬貨数を記憶する記憶手段と、前記収納部内に残存する釣銭補充用の包装硬貨の金種および包装硬貨数を前記外部装置へ出力する通信手段と、を備え、前記外部装置からの指示に基づいて、前記硬貨処理装置の前記収納部から包装硬貨を取出し可能とし、前記収納部から包装硬貨が取り出されると、前記検出手段による包装硬貨の検出処理を行うとともに、前記記憶手段に記憶された情報を更新することを特徴とする硬貨処理装置である。

【 手続補正 1 1 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 7

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 7 】

好ましくは、前記検出手段によって検出された包装硬貨の収納状況について、金種ごとの包装硬貨数が所定数未満となったときに当該金種の包装硬貨が不足していると判断する判断手段を更に備えている。

【 手続補正 1 2 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 8

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 8 】

好ましくは、特定の金種の包装硬貨が不足していると判断されたときに、当該金種の包装硬貨が不足している旨の不足信号を外部へ出力する。

【 手続補正 1 3 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 9

【 補正方法 】 削除

【 補正の内容 】

【 手続補正 1 4 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 2 0

【 補正方法 】 削除

【 補正の内容 】

【 手続補正 1 5 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 2 1

【 補正方法 】 削除

【 補正の内容 】

【 手続補正 1 6 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 2 2

【 補正方法 】 削除

【 補正の内容 】

【 手続補正 1 7 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 3
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 8】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 4
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 9】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 5
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 0】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 6
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 1】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 7
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 2】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 8
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【 0 0 2 8】

本発明に従った硬貨処理システムおよび硬貨処理装置によって、硬貨処理装置が設置された店舗内の釣銭不足が防止され得る。

【手続補正 2 3】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 9
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 4】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 3 0
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【 0 0 3 0】

さらに、本発明に従った硬貨処理システムおよび硬貨処理装置は、硬貨処理装置が設置された店舗への硬貨の輸送頻度を低減させることができる。

【手続補正 2 5】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

P O S レジスタと、前記 P O S レジスタと通信可能に構成され、釣銭補充用の包装硬貨を収納できる硬貨処理装置とを含む硬貨処理システムであって、

前記硬貨処理装置は、

釣銭補充用の包装硬貨を収納するとともに、必要時に取出し可能な収納部と、

前記収納部に残存している包装硬貨を検出する検出手段と、

前記検出手段による検出結果に基づいて、前記収納部内に残存する釣銭補充用の包装硬貨の金種および包装硬貨数を記憶する記憶手段と、

前記収納部内に残存する釣銭補充用の包装硬貨の金種および包装硬貨数を前記 P O S レジスタへ出力する通信手段と、

を備え、

前記 P O S レジスタからの指示に基づいて、前記硬貨処理装置の前記収納部から包装硬貨を取出し可能とし、

前記収納部から包装硬貨が取り出されると、前記検出手段による包装硬貨の検出処理を行うとともに、前記記憶手段に記憶された情報を更新することを特徴とする硬貨処理システム。

【請求項 2】

前記検出手段によって検出された包装硬貨の収納状況について、金種ごとの包装硬貨数が所定数未満となったときに当該金種の包装硬貨が不足していると判断する判断手段を更に備えたことを特徴とする請求項 1 記載の硬貨処理システム。

【請求項 3】

特定の金種の包装硬貨が不足していると判断されたときに、当該金種の包装硬貨が不足している旨を外部へ出力することを特徴とする請求項 1 または 2 記載の硬貨処理システム。

【請求項 4】

前記収納部から取り出された包装硬貨と等価の金額を、釣銭として予め残置されていた初期在高に加算することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の硬貨処理システム。

【請求項 5】

P O S レジスタ等の外部装置と通信可能に構成され、釣銭補充用の包装硬貨を収納できる硬貨処理装置であって、

釣銭補充用の包装硬貨を収納するとともに、必要時に取出し可能な収納部と、

前記収納部に残存している包装硬貨を検出する検出手段と、

前記検出手段による検出結果に基づいて、前記収納部内に残存する釣銭補充用の包装硬貨の金種および包装硬貨数を記憶する記憶手段と、

前記収納部内に残存する釣銭補充用の包装硬貨の金種および包装硬貨数を前記外部装置へ出力する通信手段と、

を備え、

前記外部装置からの指示に基づいて、前記硬貨処理装置の前記収納部から包装硬貨を取出し可能とし、

前記収納部から包装硬貨が取り出されると、前記検出手段による包装硬貨の検出処理を行うとともに、前記記憶手段に記憶された情報を更新することを特徴とする硬貨処理装置。

【請求項 6】

前記検出手段によって検出された包装硬貨の収納状況について、金種ごとの包装硬貨数が所定数未満となったときに当該金種の包装硬貨が不足していると判断する判断手段を更に備えたことを特徴とする請求項 5 記載の硬貨処理装置。

【請求項 7】

特定の金種の包装硬貨が不足していると判断されたときに、当該金種の包装硬貨が不足している旨の不足信号を外部へ出力することを特徴とする請求項 5 または 6 記載の硬貨処

理装置。